

社会福祉学科			社会福祉 専攻						
科目名: 権利擁護と成年後見制度			担当教員 氏名: 南 義昭						
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
2	2年次	前期	専門科目	講義	選択	社会福祉士国家試験基礎受験資格(選択必修)			
<p>実務経験を用いてどのよ権利擁護センターぱあとな富山の会員として成年後見活動を行っています。成年後見制度について被後見人等のような授業を行っているか: 権利擁護の在り方や関係機関・多職種チームによる支援、司法との連携について具体的、实际的に学習をします。</p>									
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード			
<ul style="list-style-type: none"> 相談援助活動と関連する法を理解する。 相談援助活動において必要となる成年後見制度について理解する。 成年後見活動の実際について理解する。 						権利擁護 成年後見制度 日常生活自立支援事業			
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		2. 5. 6. 8. 9.				
A 知識・理解力			法律の知識や権利擁護の制度を総合的に理解することができる。						
B 専門的技術			権利擁護活動を具体的に理解することができる。						
D 問題解決力			事例を通して問題を解決する力を身につけることができる。						
G 倫理観			法制度を学ぶことで倫理観を醸成する。						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	70 %	発表:	%	実技試験:	%	その他:	30 %
特記事項: 課題の論点整理と自己の見方、考え方を評価する。その他は出席態度を評価する。									
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 8回目と最後の講義時にレポート提出。									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 課題に対する論点の確認を行う。									
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)					
				学習内容	学習に必要な時間(分)				
①相談援助活動と法 DVD視聴				【予習】教科書第1章第1節を読む 【復習】①の復習	【予習】40分 【復習】40分				
②日本国憲法 民法				【予習】第1章第2節、第4節を読む 【復習】②の復習	【予習】60分 【復習】60分				
③成年後見制度				【予習】教科書第2章第1節～第3節を読む 【復習】③の復習	【予習】40分 【復習】40分				
④成年後見制度				【予習】教科書第2章第4節～第7節を読む 【復習】④の復習	【予習】40分 【復習】40分				
⑤日常生活自立支援事業				【予習】教科書第3章を読む 【復習】⑤の復習	【予習】40分 【復習】40分				
⑥成年後見制度利用支援事業				【予習】教科書第4章を読む 【復習】⑥の復習	【予習】40分 【復習】40分				
⑦権利擁護にかかわる組織・団体				【予習】教科書第5章を読む 【復習】⑦の復習	【予習】40分 【復習】40分				
⑧権利擁護にかかわる専門職の役割				【予習】教科書第6章を読む 【復習】⑧の復習	【予習】40分 【復習】40分				
⑨成年後見活動の実際 その1				【予習】教科書第7章第1節、第2節を読む 【復習】⑨の復習	【予習】40分 【復習】40分				
⑩成年後見活動の実際 その2				【予習】教科書第7章第3節、第4節を読む 【復習】⑩の復習	【予習】40分 【復習】40分				
⑪権利擁護活動の実際 その1				【予習】教科書第8章第1節～第3節を読む 【復習】⑪の復習	【予習】40分 【復習】40分				
⑫権利擁護活動の実際 その2				【予習】教科書第8章第4節～第6節を読む 【復習】⑫の復習	【予習】40分 【復習】40分				
⑬障害者ケアマネジメントにおける権利擁護 ケーススタディ				配布資料	【復習】40分				
⑭高齢者ケアマネジメントにおける権利擁護 ケーススタディ				配布資料	【復習】40分				
⑮振り返り ～社会福祉士会の取り組み～				配布資料	【復習】40分				
使用テキスト: 新・社会福祉士養成講座19「権利擁護と成年後見制度」第4版 (中央法規)				その他参考文献など:					
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 成年後見制度の申し立て等について新しく変更されています。講義後半では事例を通して成年後見活動の実際について学習し、権利擁護の理解を深めていきます。									